

国語

【一】次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

※[※]柳宗理のデザインした日用品が静かに注目されている。たとえば薬缶。ア^ア何の変哲もない普通の薬缶である。しかし裏に裏々として、「薬缶はやっぱりこれに限る」と思わせる説得力に満ちている。

薬缶の用途は単純だ。水道の蛇口から水を注ぎ入れて加熱器にかける。ガスでも電磁調理器でも同じことだ。湯が沸くと、注ぎ口から湯気が立ち上り、それを急須や保温ポットに〇^〇うつす。柳宗理の薬缶は、そんな日常の行為を無理なく自然に行うための道具として、素晴らしくよくできている。把手の握り心地やたつぷりした注ぎ口の造形はい意味で鈍みがあり、安心感がある。ずんぐりと座りのいい胴や蓋の膨らみには、用の美に徹した設計者の誠意が漲っているようだ。少し前まではイタリア製の、[※]幾何学的にエッジの立ったケトルがなにやら目を奪い、時代の先端を切り裂いて進んでいるかのように感じられたものだ。しかし最近ではむしろ〇^〇そういうものの方が時代がかつて見える。

この感覚は決して懐古趣味の流行やハイバル・ブームではない。消費の欲求に駆られて、「A」を三角にして「新しさ」を追い求めていた僕らのアタマが、少し平熱にもどつて、まともに日常の周囲を見渡すゆとりができたということではないだろうか。柳宗理の薬缶はアンティークでもないし、2古き良き時代を象徴するノスタルジイの産物でもない。ごく普通の工業製品として、日常の動作にきれいに寄り添っているということだ。

柳宗理のアトリエを一度だけ訪ねたことがあるが、そこには[※]石膏で作ったプロダクツの模型がたくさん並んでいた。それはコンピュータによる形態シミュレーションなど用いないで、ひたすら原寸で石膏模型を作り、それをひたすら手で撫でさすって何度も修正を加え、用途になじむ形を追求した痕跡そのものであり、その丁寧な^〇シセイとぶれない信念に、頭が下がる思いがした。〇^〇そういうものが再び市場で支持されはじめているというのは、喜ばしい求候である。

デザインとはスタイリングではない。もの形を計画的・意識的に作る行為は確かにデザインだが、それだけではない。デザインとは生み出すだけの思想ではなく、ものを介して暮らしや環境の本質を考える生活の思想でもある。したがって、作ると同様に、3気付くということのなかにもデザインの本意がある。

僕らの身の周りにあるものはすべてデザインされている。コップも、蛍光灯も、ボールペンも、携帯電話も、床材のユニットも、シーヤベッドの穴の配列も、インスタントラーメンの麺の^〇縮れ具合も、計画されて作られているという意味ではすべてがデザインされていると言ってい。人間が生きて環境をなす。そこに織り込まれた膨大な知恵の^〇堆積のひとつひとつに覚醒していくプロセスにデザインの醍醐味がある。普段は意識されない環境のなかに、それを意識する糸口が見つかるだけで、世界は新鮮に見えてくる。

人間は、世界を四角くデザインしてきた。有機的な大地を四角く区画し、四角い街路を設けて、そこに四角いビルを無数に建ててきた。四角い自動ドアからビルに入り、四角いエレベーターに乗って昇降する。四角い廊下を直角に曲がって、四角いドアをあけると四角い部屋が現れる。そこには四角い家具、四角い窓が配されている。テーブルもキヤビネットもテレビも、それを操作するリモコンも四角い。四角いデスクの上で四角いパソコンの四角いキーを打ち、四角い^〇便箋に文字を出力する。その便箋を入れる封筒も四角く、そこに貼る切手も四角い。そこに押される消印は丸いけれども。

4なぜ人類は環境を四角くデザインしたのだろうか。見渡してみると、自然のなかには、四角はほとんどない。四という数理が自然のなかになくはないはずだが、四角は非常に不安定なので、具体的に発現することが少ないそうだ。ごくまれに、完璧な立方体の鉱物の結晶など見ることがあるが、この造化の妙はむしろ人工的に見える。

おそらくは、直線と直角の発見、そしてその応用が、四角い形をこれほど多様に人間にもたらした原因だと思われる。直線や直角は、二本の手を用いれば、比較的簡単に「B」することができる。たとえば、バサミのような大きな葉を二つに折ると、その折れ

筋は直線になる。その折れ筋をそろえるようにもう一回折ると、直角が得られるのである。その延長に四角がある。つまり四角とは、人間にとって、手をのばせばそこにある最も身近な最適性能あるいは幾何学原理だったのである。だから最先端のパソコンも携帯も、その^{*}フォルムは古典的なのだ。

(原研哉『日本のデザイン―美意識がつくる未来』)

^{*}柳宗理：二十世紀に活躍した、工業製品のデザインを手がけるデザイナー。

^{*}幾何学的にエッジの立たケトル：形などが法則にのっとっており一定のパターンを持っているような、人の目をひく刺激的なデザインのやかん。

^{*}石膏で作ったプロダクト：硫酸カルシウムを主成分とする鉱物で作った製品。

^{*}フォルム：形、形状。

問一 二重傍線部^ろのカタカナを漢字に、漢字の読みをひらがなに直して答えなさい。

問二 点線部ア～オの中で「柳宗理の薬缶」を指していないものが一つあるが、それはどれか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

問三 空欄 A には、体の一部を表す語が入る。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 目 イ ロ ウ 耳 エ 指 オ 鼻

問四 傍線部「薬缶はやっぱりこれに限る、と思わせる説得力に満ちている」とあるが、そのように言えるのはなぜか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 柳宗理の薬缶は、丁寧につくられ、また幾何学的に時代の先端を切り裂いたデザインであるから。

イ 柳宗理の薬缶は、人々が日常で使用しやすいように試行錯誤されたデザインであるから。

ウ 柳宗理の薬缶は、用の美に徹しており、見た目が美しく誰もが好むデザインであるから。

エ 柳宗理の薬缶は、日常を見渡す余裕ができたことにより懐かしく感じるデザインであるから。

オ 柳宗理の薬缶は、人々が消費の欲求に駆られるような流行にのったデザインであるから。

問五 傍線部「古き良き時代を象徴するノスタルジ」と同じ内容の表現を、本文中から四字で抜き出しなさい。

問六 傍線部3「気付くということ」とあるが、筆者は何に「気付く」と述べているのか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 普段は意識されない環境の中に生活の本質が隠されているということ。
- イ 身の周りにあるあらゆるものは、すべてデザインされているということ。
- ウ ものを作りあげるプロセスにデザインの醍醐味があるということ。
- エ デザインとは、ものの形を計画的・意識的に作っているということ。
- オ デザインは、暮らしや環境によつて変化するということ。

問七 傍線部4「なぜ人類は環境を四角くデザインしたのだろうか」とあるが、その理由を本文中から二十一文字で抜き出しなさい。

問八 空欄 B には、「抽象化」の対義語が入る。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 可視化
- イ 一般化
- ウ 具体化
- エ 合理化
- オ 適正化

問九 筆者はデザインのおもしろさがどのようなところにあると述べているか。本文中から四十六字(句読点を含む)で抜き出し、解答欄に合うように最初と最後の五字を答えなさい。

問十 本文の内容と合致していないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 柳宗理がデザインした薬缶の、道具としての素晴らしさを、他の設計者のものと比較しながら説明している。
- イ 柳宗理のデザインした薬缶は、安心感があり、設計者の気持ちがよくこもっている作品である。
- ウ 四という数値は自然のなかにあるが、四角は不安定なので、具体的に発現することが少ない。
- エ 筆者が好むデザインを複数あげることによつて、日用品のデザインの重要性を証明している。
- オ 人の作り出したものはすべてデザインされたものであり、私たちはその中で生活をしている。

問十一 次の例文の傍線部は敬語表現である。その使い方として、適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。

- ① どのようなボランティア活動をなさっていたのですか。
- ② 私が先ほどおつしやだことについて、質問はありませんか。
- ③ 家庭訪問の際、先生は何時頃こちらにづかかいますか。
- ④ お食事の用意が整いました。熱いうちに召し上がってください。
- ⑤ 母はまもなくお帰りになるとお思いますので、しばらくお待ちいただけますか。

【二】次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

女性初の有人潜水調査船くしかい六五〇〇のパイロットを目指す天谷深雪^{あまのふゆゆき}、幼い頃に生き別れた海洋技術研究者の父の背中を追って訓練に励んでいたが突然現れた異母弟・博生の言葉によって閉所恐怖症を発症してしまう。叶いかけた夢は遠のき、配置換えという夢き目の中で彼女の前に現れたのは、謎の深海生物くひい糸を追う男・高峰だった。反発し合いながらも互いに理解を示し、深雪の閉所恐怖症も快方に向かていく。そうした中、二人にくしかい六五〇〇の潜航の許可が下りた。乗組員の様々な思いを抱えながらくしかい六五〇〇は日本海津に沈んでいく。

「深さ二〇〇〇」

※多岐司令がふたたび投光器を点けた。一段と深くなった闇の中に光が吸いこまれていく。こんなに見通しが悪くては、数メートル先を巨大なダイオウイカが通つても気づかないだろう。広大な暗闇の中で私たちは点と点でしかない。※邂逅するにはグウゼンを待つしかない。

※耐圧殻の中はますます冷えていく。A 冷蔵庫の中にいるようだ。凍りついたように冷たくなった窓の前で目をこらしていた※高峰が小さく声をあげた。

「ゴビアシクラゲがすぐ前を通りました」

人間の指のような B 足をさらさげた巨大なクラゲが、肉色をした傘をぱくくらませて泳ぎ去っていく。

「すぐ先に、千切れたのでしょうか、足、というか指みたいなものが浮かんでいます。なんか気持ち悪いですね」

C

多岐司令が低い声で言った。

※アリスノードだけじゃなく、そこら中に死骸が転がっているのが海だ。しかし、死を日常から遠ざけている俺たち現代人には

D 見えてしまうんだな」

「深さ三〇〇〇」

ここまづ潜ると、窓の外にはほとんど何も見えなくなる。

しばらくの間、耐圧殻の中には沈黙が満ちた。

今のうちに腹ごしらえしておきましょう、と私は魔法瓶とサンドウィッチを高峰に渡した。高峰はサンドウィッチを齧りながら窓の外に視線を向けている。

四〇〇〇メートルくらいまで潜った頃、

「大きな魚が※マニヒエレータの前を泳いでいます」

高峰が報告した。

体長二メートルはあろうかという、巨大な魚が通り過ぎる。真っ白な体。丸く黒い目。大きな口を放心したように開き、尻すばみになった体を海流にまかせ、ゆったりと泳いでいる。こちらに興味があるのかないのか、ただ「泰然」とたゆたつているようにも見えた。

「ソコボウズだな」

六秒あとに※目山さんの解説が聞こえてきた。

「普段は海底にいるはずなんだけど、浅い方から流されてきたのかな。このあたりの水深では最大の肉食動物だ。餌が b 深い海では体が大きい方が行動範囲が広いし、栄養分も蓄えやすい。生物が巨大化する要因だと言われているが、はつきりと

c カイメイされたわけじゃない」

「深さ五〇〇〇」

私は高峰を振り返り、もうじき底に着きますと報告した。

往復にかかる五時間、着水・揚収作業にかかる一時間も含めて、潜航は合計九時間と定められている。日が沈んでしまうと揚収作業ができないからだ。

E、海底滞在時間は最大三時間。

それが海洋研究開発機構が高峰に与えた時間のすべてだ。

「天谷、どうだ、初めての五〇〇〇メートル超えは」

多岐司令が私に尋ねた。

すごいです、と私は溜め息をついた。

「閉所恐怖症だった頃、お前は、自分のことを海の底に沈んでいるみたいだと言ってたな。どうだ、お前の言っていた底こいてのは、こういう感じか」

私は、俊敏に泳ぎ去るシンカイヨロイダラを見つめて、首を振った。

ここは思っていたより賑やかな世界だ。巨大な水塊を頭上に戴き、孤独や飢餓と戦いながら、生物たちは軽々と尾を振って泳ぎ回っている。どれだけ頑張ったらそんなに強くなれるのだろうか。そんなことはばかり考えてしまう。

そして、こうも思う。

資源の少ない環境で懸命に進化を続ける彼らは、まるで私たち日本人のようだ。

「俺の夢はな、いつかここへ子供たちを連れてくることだったんだ。それこそ『海底二万里』のノーチラス号みたいな、大きな窓をつけた潜水船をアヤツてな」

多岐司令が小さな覗き窓に目を落とした。

「これからの子供たちは大変だ。先の見えないこの国をしょって、ものすごい重圧に耐えて生きていかなければならない。だからこそ、豊りのない無垢な目にこの世界を見せてやりたいんだよ。高峰の言う通り、子供たちの中に、枯渴することのない莫大なエネルギーを生んでやることできるかもしれないじゃないか」

静かに微笑みながら言う。

「お前たちふたりは、海洋研究開発機構の未来を担う人間だ。俺はもう定年だが、お前たちがいつかその夢をかなえてくれ。八秒遅れて、さすが多岐司令だ、高峰や天谷とは言うことが違いますね」と目山さんが擲揄する声が聞こえた。一部は僕の言葉でしたけどね、と高峰がコーヒーを飲みながら言い返した。

(朱野 帰子『海に降る』)

※多岐司令…へんかい六五〇〇の司令。チームのトップ。

※邂逅…思いがけなく会うこと。めぐりあい。

※耐圧殻…潜水艦潜水艇の船体における、水圧に耐えるための外殻構造。船員が乗り込む空間を指す。

※高峰…広報課職員。父・秋一が深海で見た白い糸を追っている。

※マリンスノー…肉眼で観察可能な海中の浮遊物質のこと。

※アヒュエリタ…ロボットの腕や手に当たる部分。

※目山…研究者。海洋・極限環境生物圏領域のプログラマー。

※揚収…クレーンを使って探査機を海から引き揚げること。

※擲揄…からかうこと。

問一 二重傍線部「e」のカタカナを漢字に、漢字は読みをひらがなにして答えなさい。

問二 空欄 A に入る語は何か。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア とても
- イ おそらく
- ウ まるで
- エ しかも
- オ そのうえ

問三 空欄 B に入る語は何か。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 図々しい
- イ 華々しい
- ウ 雄々しい
- エ 空々しい
- オ 生々しい

問四 空欄 C に入る語は何か。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「潮流があるからな」
- イ 「天敵がないからな」
- ウ 「仕事だからな」
- エ 「命だからな」
- オ 「深いからな」

問五 空欄 D に入る語は何か。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 恐ろしく
- イ 美しく
- ウ 珍しく
- エ 悲しく
- オ 尊く

問六 傍線部1「泰然」とあるが、その意味として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 内面は弱いが、外見は強そうに見える様子。
- イ 落ち着き払っていて少しも動じない様子。
- ウ 表面は服従しながら、内心は反抗している様子。
- エ 獲物を狙うように機会をうかがっている様子。
- オ 苦痛や悲惨な状況に混乱している様子。

問七 空欄 E に入る語として最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ときに
- イ ところが
- ウ なぜなら
- エ つまり
- オ または

問八 傍線部2「閉所恐怖症だった頃、お前は、自分のことを海の底に沈んでいるみたいだと言ってたな。」とあるが、深雪はどのような海の底をイメージしていたか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 竜宮城を思わせるような、華やかな異世界へつながるものとして、不思議な力の源泉だというイメージ。
- イ 水深が深い所では地続きで他国の領地と繋がり、行き来が出来るという海中探検を想起させるようなイメージ。
- ウ 母親の子宮内のように、温かく大きな安心感に包まれた、ゆりかごの中で穏やかに時が満ちるのを待つイメージ。
- エ 太陽の光が届かない隔絶された世界で、自分の力だけで生命活動をしている動物界の弱肉強食のイメージ。
- オ 正確にはどれくらいの深さにいるのか分からず、一人ぼちで静かな暗い場所に留まっているイメージ。

問九 傍線部3「俺の夢は、いつかここへ子供たちを連れてくること」とあるが、それはなぜか。最も適当と思われる箇所を解答用紙に合うように本文中から四十三字(句読点を含む)で抜き出し、最初と最後の五字をそれぞれ答えなさい。

問十 傍線部4「ものすごい重圧」とあるがそれはどういうことか。次の空欄に合う言葉を後の語群の中から一つ選び、記号で答えなさい。

これからの 時代を生きていかなければならないことの重圧を感じているということ。

【語群：ア 高揚した　イ 充実した　ウ 絶望した　エ 混乱した　オ 解放された】

問十一 傍線部5「この世界」とあるが、どのような世界か。それを表す具体的な一文を本文中から抜き出し、解答欄に合うように最初と最後の五字を答えなさい。(句読点を含む)

【三】次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

※「**晴明**は、俗ながら**那智十日の行人**なり。毎**日一時**、滝に立ちて打たれけり。¹先生もやむことなき**大峰の行人**と云々。
 ※**花山院**、在位の御時、²**頭風**を病ましめ給ふ。雨氣有る時は、殊に発動し、³為む方を知り給はず。種々の医療、更に**験無**
 し」と云々。爰に晴明朝臣、申して云はく、「先生は止むこと無き行者にて御坐しけり。大峰の某宿に於いて入滅す。先
 生の行徳に答へ、⁴天子の身に生まると雖も、先生の**髑髏**、**巖の介**に落ちはさまりて候らふが、雨気には巖ふとる物にて
 つめ候らふ間、⁵今生、此くのごとく痛ましめ給ふなり。仍りて御療治に於いては、叶ふべからず。御首を取り出だして広
 き所に置かるれば、不定に平癒せしめ給ふか」とて、「**しかじかの谷底**に」とをしへて、人を遣はして見せらるる処、申
 す状、相違無し。「首を取り出ださるる後、御頭風、⁶永く平癒し給ふ」と云々。

(源頭兼『古事談』より引用、一部改変)

- ※晴明 ……安倍晴明(あべのせいめいとも呼ぶ)のこと。平安時代の陰陽師。
 ※花山院 ……花山天皇(在位984年~986年)のこと。出家して花山法王、花山院と呼ばれる。
 ※入滅 ……人間の迷いを捨てて、悟りの境地に入ること。

問一 本文中にある次の語句を、例にならって現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

(例) いふ ↓ いう

- ① ぎやうにん(行人) ② くわざんゐん(花山院) ③ おほんとき(御時) ④ にふめつ(入滅) ⑤ おんれうち(御療治)

問二 傍線部1「先生」とはどのような意味で使われているか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 師匠 イ 弟子 ウ 前世 エ 先祖 オ 子孫

問三 傍線部2「頭風を病ましめ給ふ」とあるが、それはなぜか。その理由となる一文の最初と最後の五字を答えなさい。(句読点を含む)

問四 傍線部3「天子」とは誰を指すのか。本文中から抜き出して答えなさい。

問五 傍線部4「髑髏」と同じ意味で使われている単語を、本文中から抜き出して答えなさい。

問六 傍線部5「御療治に於いては、叶ふべからず」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 晴明の占いの力で、さまざまな医療を施しても効果が出ないようにしていたから。
 イ さまざまな医療を施したところで、不治の病には何の効果もないから。
 ウ 今までの行いが悪かった報いがすべて頭風となつて襲ってきているから。
 エ 天子の身に生まれたからには、頭風の痛みに耐えて世の中のために尽くすべきだから。
 オ いくら医療を施そうとも、頭風の原因を取り除かなければ効果はないから。

問七 傍線部6「永く平癒し給ふ」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 晴明の教える通りに、先生の髑髏を谷底に見つけ、それを広いところに置いたから。
 イ 晴明と同等の力を身に付けるべく、那智十日の滝行を行うことで、病を吹き飛ばしたから。
 ウ 天子という権力を用いて、晴明を朝臣の地位に付け、自分の味方に引き入れたから。
 エ 雨気が有るときの頭風はとても我慢できないため、谷底へ行つて治療したから。
 オ 尊い行者であつたため、晴明の力も借りることで病を退散させることができたから。

問八 『古事談』は説話というジャンルである。この作品と同じジャンルの作品を次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 平家物語 イ 源氏物語 ウ 枕草子 エ 古今著聞集
 オ 徒然草 カ 方丈記 キ 宇治拾遺物語集 ク 土佐日記

二〇二二年度 大阪学院大学高等学校入学試験
国語解答用紙

※印のところは記入しないこと

一	問一	a	す	b	ねた	c		
		d		e	れ			
	問二							
	問三							
	問四							
	問五							
	問六							
	問七							
	問八							
	問九	最初				最後	ところ	
	問十							
問十一	①				②			
			③			④		
					⑤			

二	問一	a		b	しい	c	
		d	て	e	う		
	問二						
	問四						
	問六						
	問八						
	問九	最初				最後	から
	問十						
	問十一	最初				最後	世界

三	問一	①				②		
		④				⑤		
	問二							
	問三	最初				最後		
	問四							
	問五							
	問六							
	問八							

受験番号	
------	--

◎受験番号を忘れないこと

得点	
※	
点	

※	
※	

※	
※	

※	
※	

※印のところは記入しないこと

41	問一	a	移す	b	たずねた	c	姿勢						
		d	ちようこう	e	ちちれ	②×5							
	問二	ウ		②									
	問三	ア		②									
	問四	イ		②									
	問五	懐古趣味		③									
	問六	ア		②									
	問七	最も身近な最適性能あるいは幾何学原理だっただから ③											
	問八	ウ		②									
	問九	最初普段は意識最後見えてくるところ 完答③											
	問十	エ		②									
問十一	①	○	②	×	③	×	④	○	⑤	×	②×5	※	※

33	問一	a	偶然	b	とぼしい	c	解明					
		d	操って	e	になう	②×5						
	問二	ウ		問三	オ		②×2					
	問四	エ		問五	ア		②×2					
	問六	イ		問七	エ		②×2					
	問八	オ		②								
	問九	最初子供たちの最後もしれないから 完答③										
	問十	エ		③								
	問十一	最初巨大な水塊最後回っている世界 完答③										
	※	※										

26	問一	①	ぎょうにん	②	かざんいん	③	おおんとき				
		④	にゆうめつ	⑤	おんりようじ	②×5					
	問二	ウ		②							
	問三	最初先生の行徳最後給ふなり。 完答③									
	問四	花山院		②							
	問五	(御)首		②							
	問六	オ		②							
	問七	ア		②							
問八	エ		キ		完答③						
※	※										

受験番号	
------	--

◎受験番号を忘れないこと

得点	
※	
点	

※	

※	

※	